

支えあいの力

お喋りと コンサート

2月3日、支えあいの力コンサートはルミエール府中 コンベンションホール飛鳥を会場として準備万端整えたものの・・・その日、東京は2年ぶりの大雪。

急遽3月3日(日)くにたち南市民プラザで行いました。療養者の方6名とその家族、介護者の方々総勢46名の参加がありました。ご多忙のなか、都立神経病院院長の林先生が参加してくださり、療養者、家族、介護者にエールをいただきました。

人工呼吸器を装着している療養者は、日ごろクラシックコンサートにはなかなか出られません。

今回は、府中クラシック音楽愛好会の皆様によるピアノと木管楽器のコンサートでした。ちょっと珍しい取り合わせとも受け取られましたが、楽器の説明もあり、楽しく和やかな雰囲気でした。後半の交流会ではコンサートの感想とともに皆さんの最近の療養状態をお聞きしました。①近くで、生演奏が聞けてよかった。②元気が出た。③心の疲れが取れた。④人とのつながりを感じた。⑤孤立しがちな生活の中で、人とのつながりを感じた。⑥心が晴れる。⑦日ごろ会うことができない人と会えてよい。⑧外に出る機会になった。⑨他の人の生き方に触れる機会になった。⑩患者・家族・介護者や参加者、共に多くの「和」を作り上げていたなどの感想をいただきました。



府中クラシック音楽愛好会の演奏で曲目は「愛の挨拶」「メリーウィードーのワルツ」「魔法使いの弟子」「小さな手の祈り」「アルルの女メヌエット」など。「ふるさと」をみんなで歌いました。

